



平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子

平成28年8月1日 16:10 開始

2回戦

県立総合体育館大アリーナ D

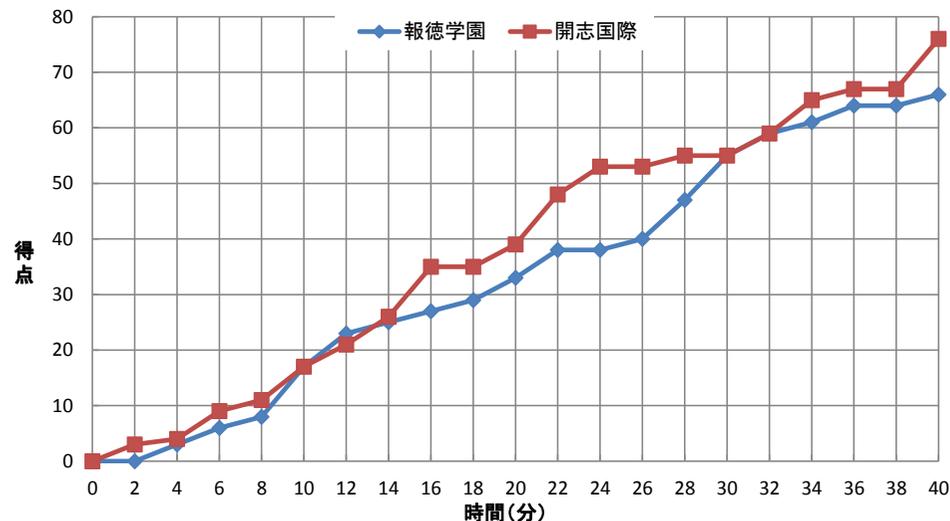
報徳学園	66	<table border="0"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>22</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>11</td><td>4th</td><td>21</td></tr> </table>	17	1st	17	16	2nd	22	22	3rd	16	11	4th	21	76	◎	開志国際
17	1st		17														
16	2nd		22														
22	3rd		16														
11	4th	21															
(兵庫県)			(新潟県)														

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	田中 智樹	9	1	3	0	2	* 4	伊勢谷 知史	4	0	2	0	3
* 5	植田 春樹	10	2	2	0	2	* 5	西村 一輝	17	0	7	3	1
* 6	金 起鉉	3	0	1	1	1	6	舘澤 公之介	-	-	-	-	-
7	濱田 悠暉	8	2	1	0	1	7	佐藤 剛志	7	1	2	0	1
* 8	亀井 優大	8	0	4	0	2	* 8	浅井 峽介	10	3	0	1	2
9	新谷 淳	2	0	1	0	0	9	中谷 空	3	1	0	0	1
10	岡野 芳紀	11	0	3	5	1	* 10	中山 雄介	14	3	1	3	0
* 11	植田 剛	7	1	2	0	2	11	小栗 瑛哉	-	-	-	-	-
12	松川 高輔	0	0	0	0	2	12	丸山 遼	-	-	-	-	-
* 13	志水 祐太	8	0	3	2	5	13	中山 星磨	5	0	2	1	3
14	丹羽 綺希	-	-	-	-	-	* 14	BABACARR .S NYASSI	14	0	6	2	4
15	大町 堯舜	0	0	0	0	0	15	SYLLA ELHADJI ASSANE	2	0	1	0	1
コーチ	田中 敬					0	コーチ	富樫 英樹					0
Aコーチ	篠木 孝友						Aコーチ	津野 祐樹					
合計		66	6	20	8	18	合計		76	8	21	10	16

主審: 安西 郷史

副審: 有馬信太

得点経過



CTO	1・2P	3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:52	:	32:53	37:41	38:29	:	:	:
TeamB	:	:	29:02	39:23	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、両チームともにマンツーマンでスタート。報徳学園は#5の3Pシュートや#4のドライブインを中心に得点を重ねる。開志国際は#5のポストプレイや#14のリバウンドショットで得点を上げ、流れを掴みかける。しかし、報徳学園はゾーンプレスで開志国際のミスを生かして、追い上げに成功する。17対17、第1P終了。

第2P、両チームともシュートが決まらず得点が伸び悩む。終盤、報徳学園のミスが続いたところで開志国際の速攻が決まり、33対39、開志国際リードで前半終了。

第3P、報徳学園のゾーンディフェンスに対して、開志国際は#8の3本の3Pシュートなどでリードを15点差まで広げる。しかし、開志国際はその後ファールがかさむ。報徳学園はフリースローを着実に決め、じわじわ点差を縮める。勢いづいた報徳学園はゾーンプレスでボールを奪うと、#7の3Pシュートなどで追いつき、55対55で第3P終了。

第4P、立ち上がりからアップテンポな展開となったが、開志国際#5の堅実なプレイで連続得点し、先行する。離されたくない報徳学園は、#13の力強いドライブインやリバウンドショットなどで食らい付く。開志国際#5は、その後も連続で得点し、チームを牽引する。報徳学園は、点差を詰めようと積極的な3Pシュートで奮起するも#13のファールアウトが響き、そのまま試合終了。76対66で開志国際が勝利した。

戦評: 横田 学

記録: 海田高校